

だいどう じ さんもん
79. 大同寺山門

■ 指定日

昭和54年10月1日

■ 種別

有形文化財 建造物

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市山東町早田

■ 所有者

大同寺



■ 内容

棟札には延宝六戊午(1678)、粟鹿村庄太夫建、住持比丘仲巖叟宗補、大工直見善兵衛等の文字がみえる。江戸時代中期の建造物で、天和3年(1683)に現位置に移築された開山堂より、数年古いことになる。

切妻造りで、古図では草葺とあるが現在は瓦葺になっている。後補の両袖部を除けば薬医門形式といってよい。(本柱2、控柱2、棟は本柱の真上ではなく控柱との中間。)

小規模ではあるが、分厚な板の墓股、懸魚、木鼻その他の細部も簡素で、江戸期に多い形式化、煩雑化等の感も少なく、禅寺にふさわしい造りである。